

ご挨拶

この度は、～ものづくり企業を丁寧に繋ぐ BtoB マッチング～「京都ビジネス交流フェア2022」サイトを御覧いただき、ありがとうございます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関して、まん延防止等重点措置の実施に伴い、行動自粛、営業自粛等に御協力いただいている皆様、そして今も第一線で御奮闘いただいております医療従事者をはじめ、全ての皆様に改めて心から感謝申し上げます。

現在も世界を席卷している新型コロナウイルス感染症によって、府民の皆様の生活・消費行動や社会構造は大きく変化しました。特に産業界においては、コンテナ不足など感染拡大に伴う物流の混乱のほか、サプライチェーンの脆弱性、デジタル化の遅れ、高度人材の不足など、構造的な課題が明確になりました。

一方で、これまでから京都では文化や技術を生かし伝統を守りながら革新を続け、常に新たな市場に挑戦する企業が現れてきたことで歴史が紡がれてまいりました。

来たるべき POST コロナ社会に向けては、京都の強みを活かし、文化力で生活を豊かにする市場の開拓、脱炭素などのグリーンイノベーションの推進等、社会・産業の課題解決につながる、新産業を創造することが重要であり、業種を越えた幅広い分野の企業や研究機関等との交流・連携を通じて、共に新たな事業展開に挑戦するオープンイノベーションが必要となってまいります。

本フェアでは、出展者と直接対話ができるリアル展示商談会とバーチャル商談会を併催し、府内外の多くの事業者とのマッチングの場を提供するとともに、異業種連携による積極果敢な取組成果の特設展示など、多様な交流の促進を図っております。

今後、文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催など、これまで京都をはじめ関西各地が未来を見据えて力を結集してきた取組が実を結ぶこととなります。特に大阪・関西万博の開催は、京都が誇る伝統産業や先端テクノロジー、文化芸術、メディアコンテンツなどを世界にアピールする絶好の機会です。

京都府といたしましても、この好機を活かして、多様な中小企業の交流を図り、人口減少や脱炭素など、POST コロナ社会で求められる様々な社会課題の解決や、経済情勢の変化に対応できる持続性の高い産業構造の形成を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに当たり、本フェアが、お客様との対話を通じて信頼を獲得する場となり、そして、現在の逆風に立ち向かっていく中小企業の皆様が飛躍するチャンスとなることを心より祈念し、挨拶とさせていただきます。

京都府知事 西脇 隆俊